

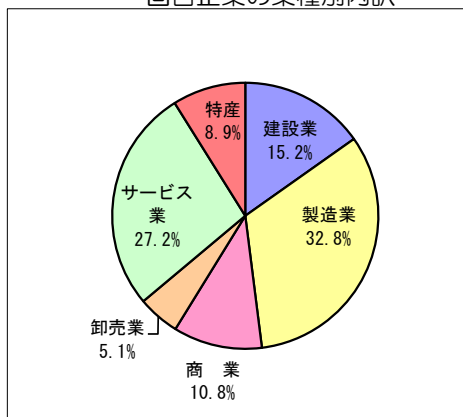
小野商工会議所会員事業所 景気調査（2022年第3四半期）集計結果

2022年10月31日

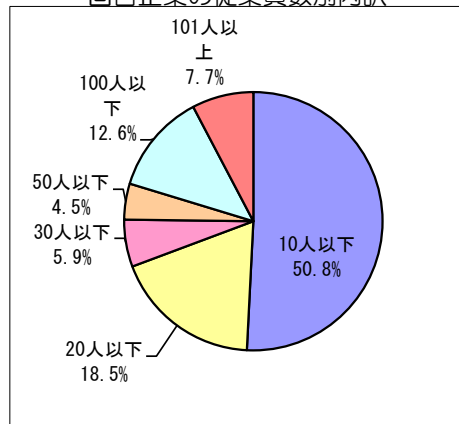
アンケート回答企業数 158社 （アンケート送付数 222社）
 回収率 71.2%

調査対象期間 2022年7月～9月
 比較対象期間 前年同期 2021年7月～9月
 前 期 2022年4月～6月
 来 期 2022年10月～12月

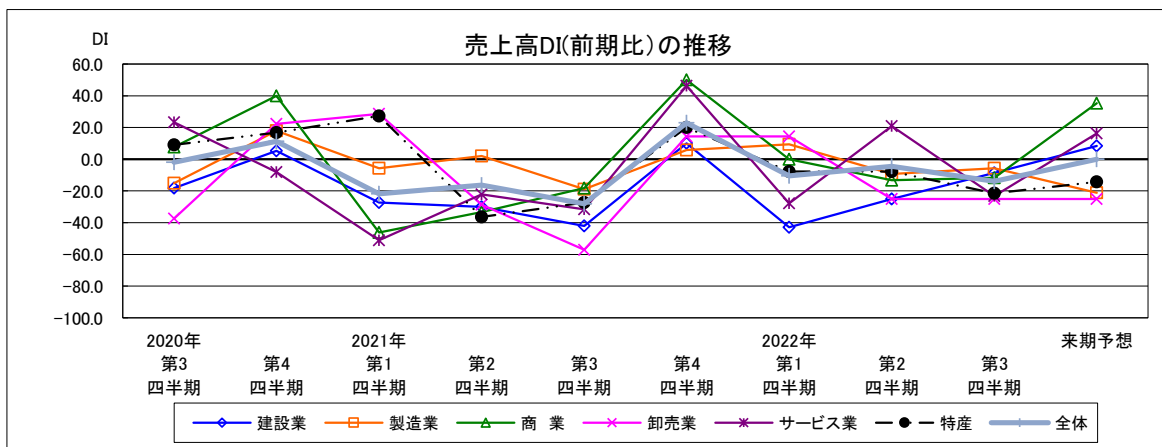
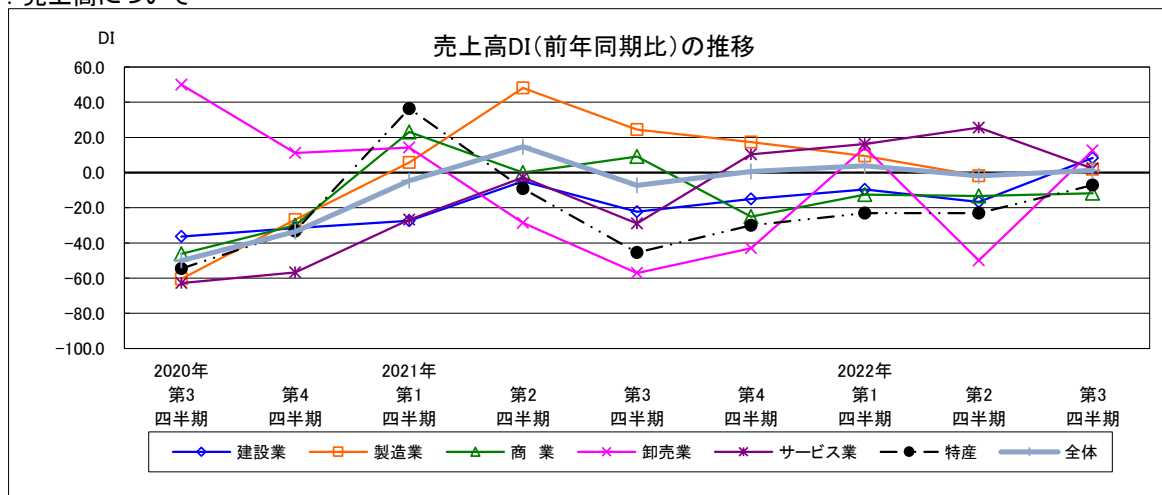
回答企業の業種別内訳



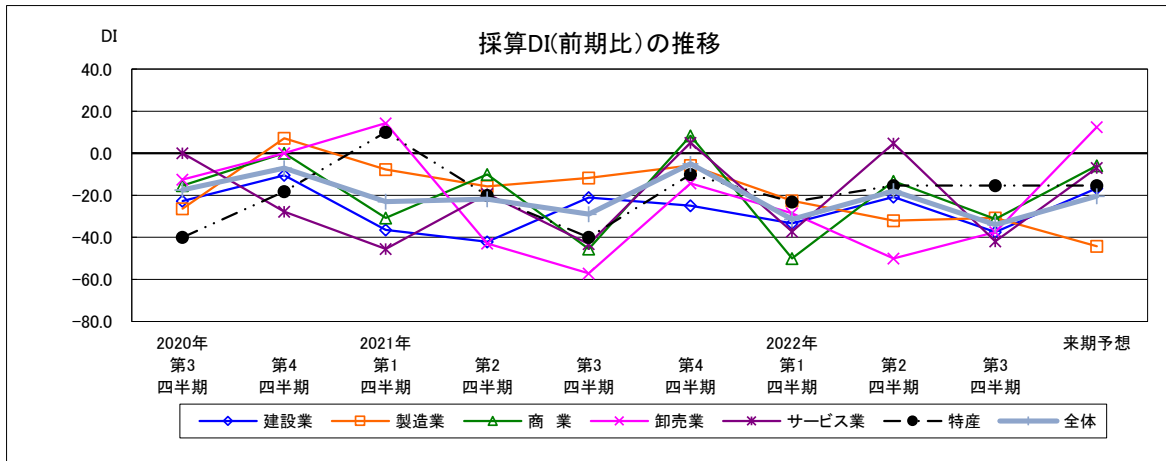
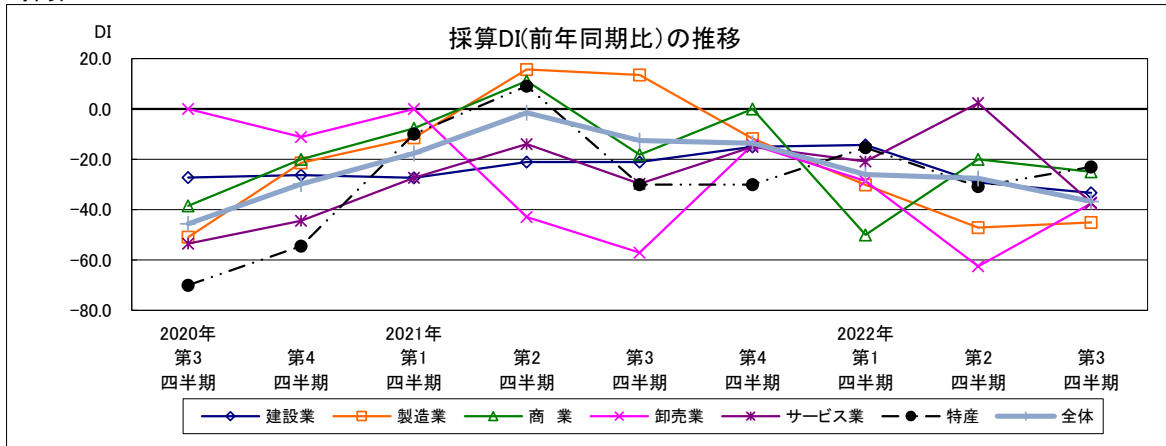
回答企業の従業員数別内訳



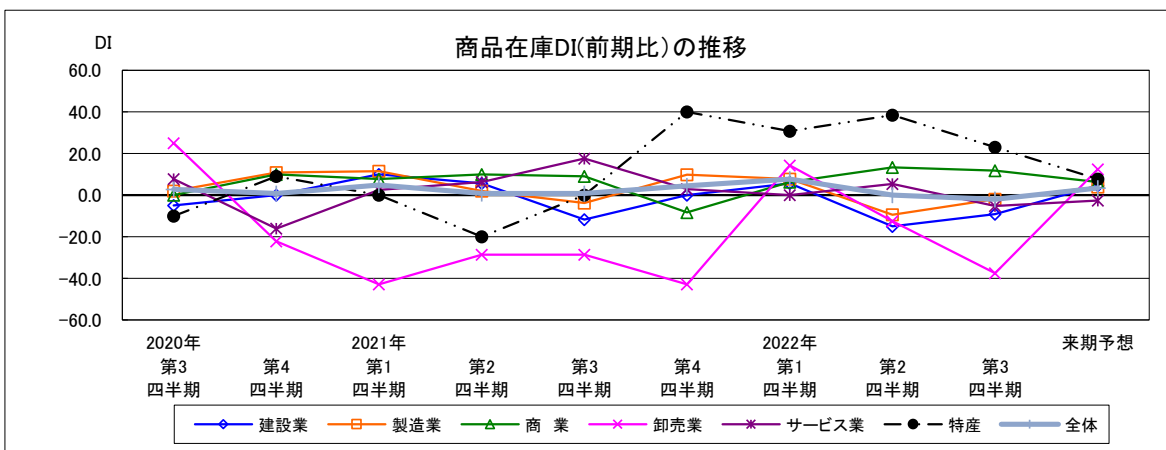
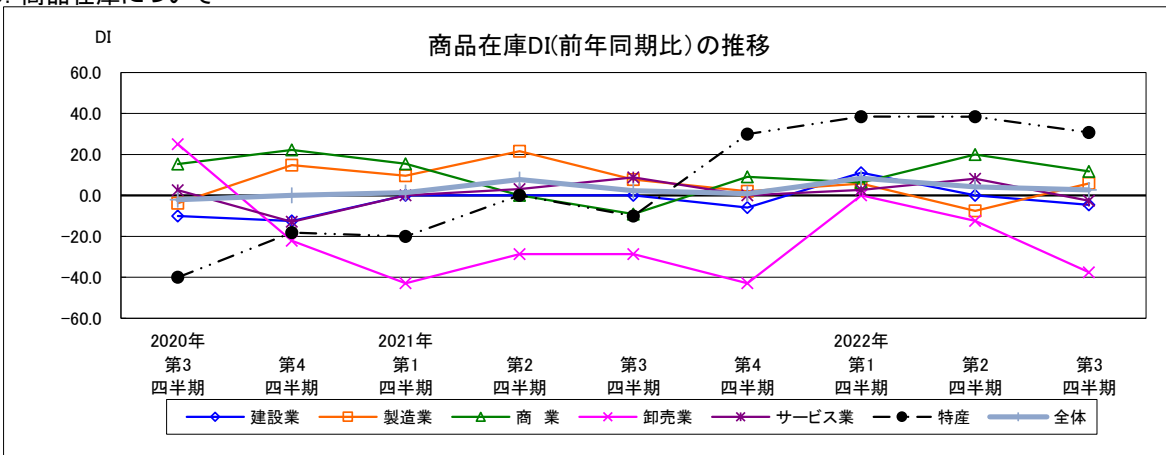
1. 売上高について



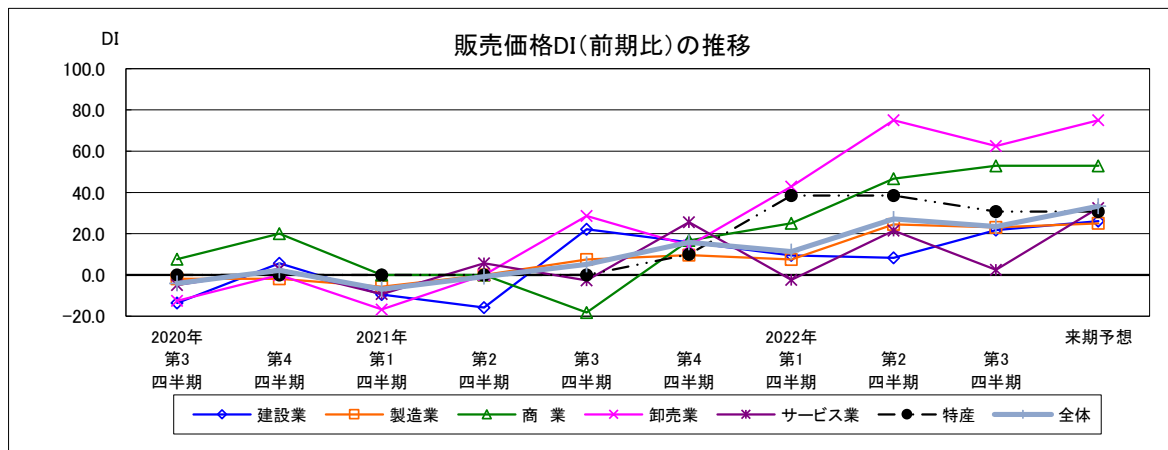
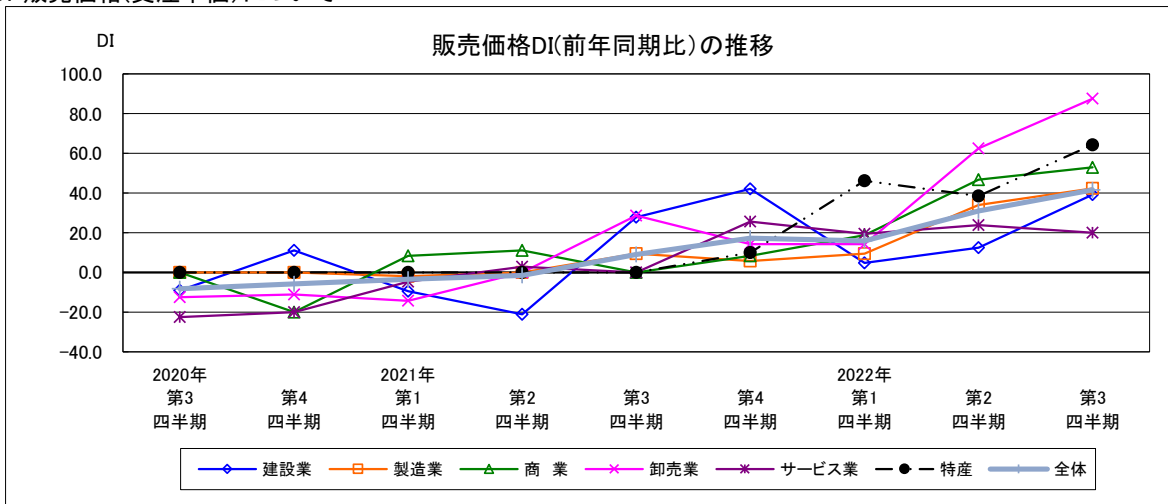
2. 採算について



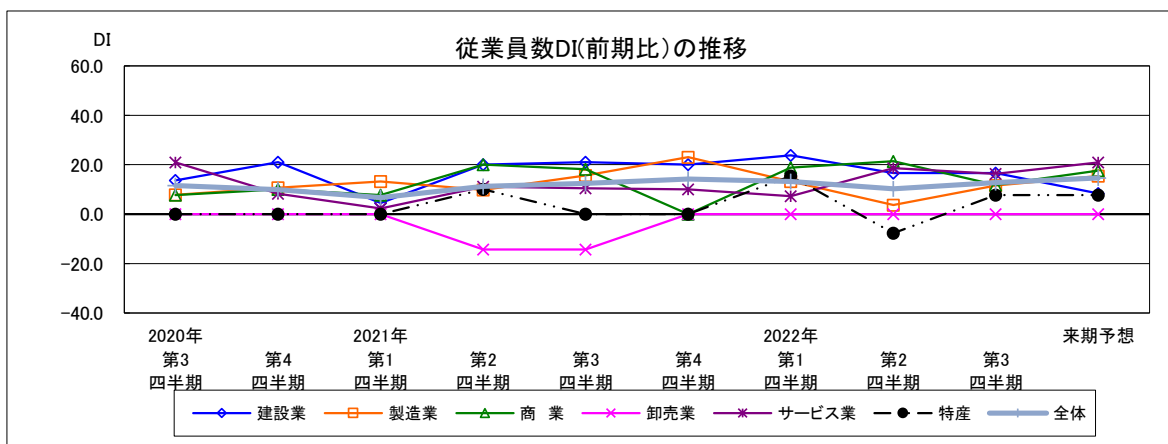
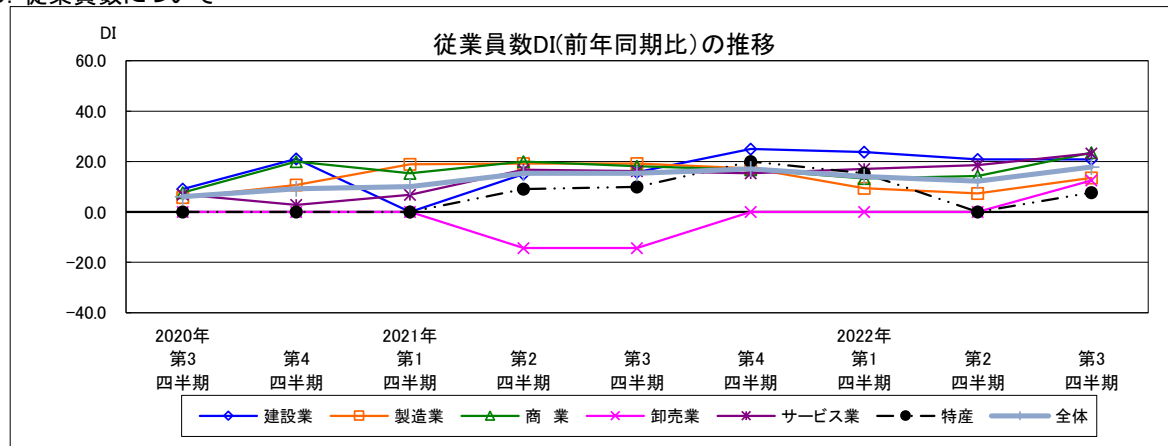
3. 商品在庫について



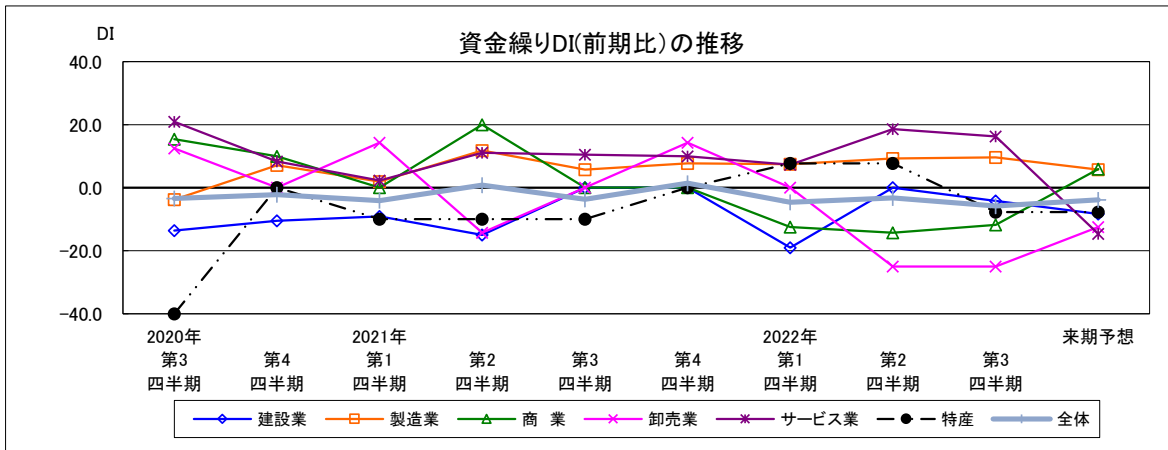
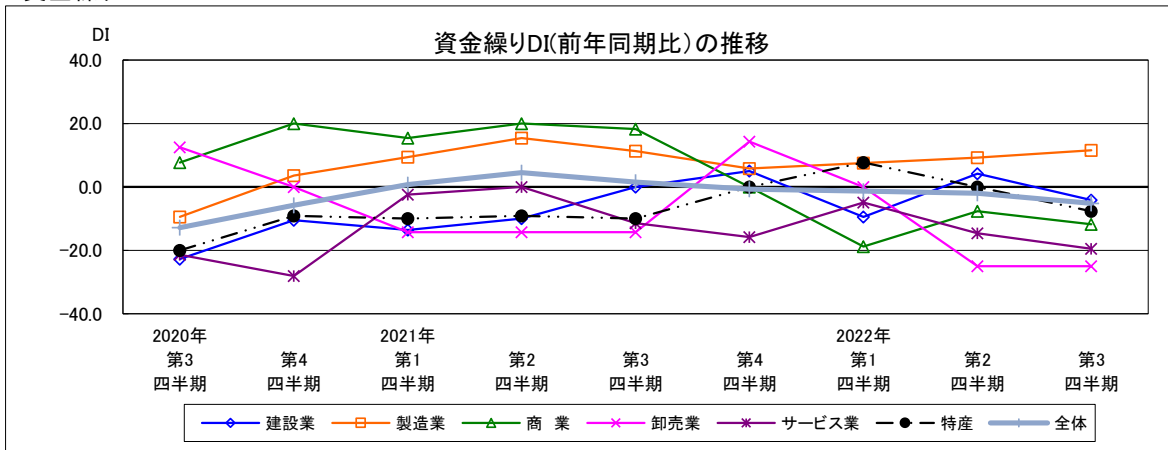
4. 販売価格(受注単価)について



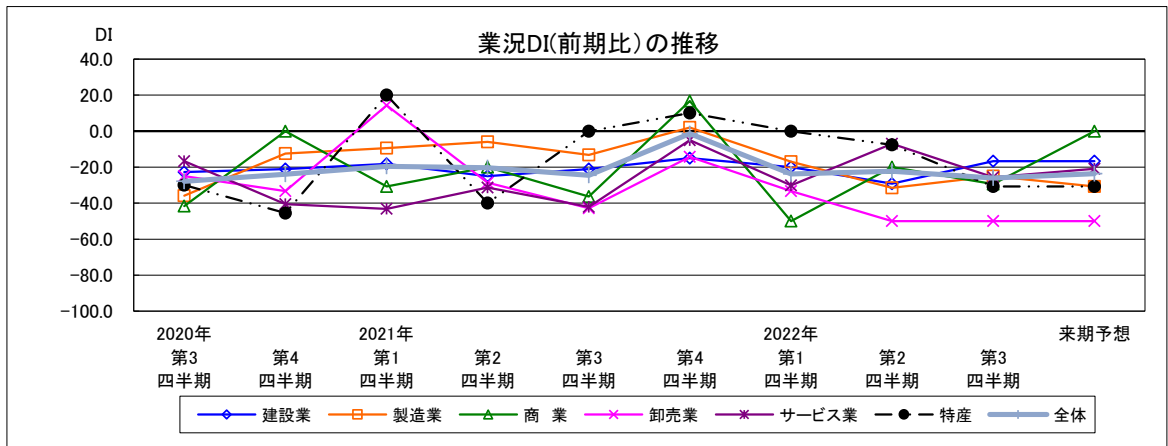
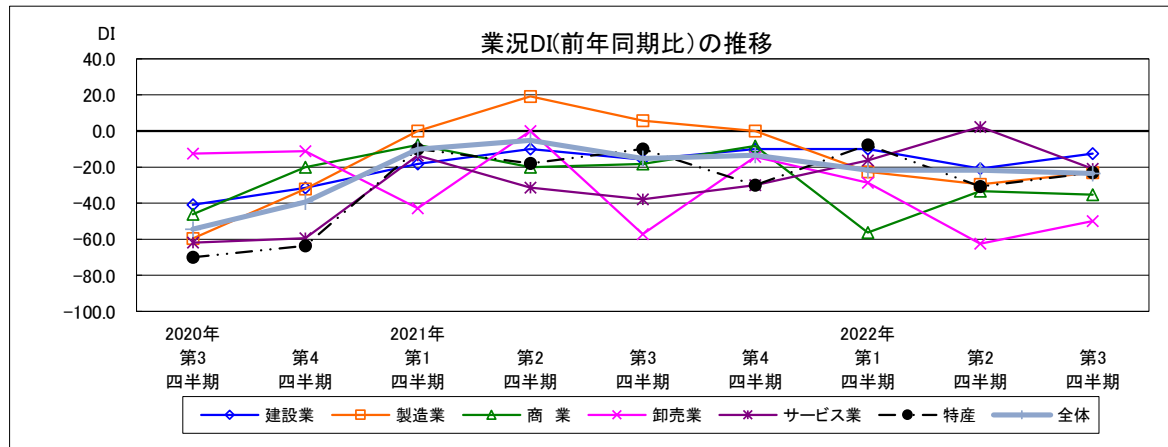
5. 従業員数について



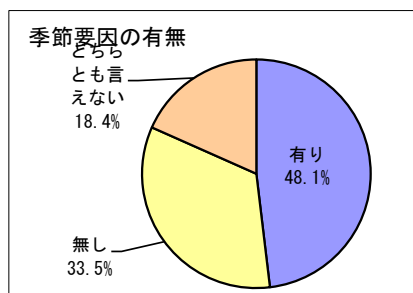
6. 資金繰りについて



7. 業況について



1～7の項目について季節要因による変動はありますか。



8. 以下は、頂いたコメントの一部を紹介しています。

○建設業

- ・現場監督の不足。ICTへの投資が大きい為、利益が減少。
- ・セメント他仕入原材料の高騰の影響がきびしく収益を圧迫している。
- ・物価上昇が収益を圧迫しています。
- ・燃料高により営業、現地への移動が多くなるにつれ経費増となり、受注が増える事は良いのだが、我々の中小企業は蓄えがないので大変。
- ・燃料の値上がりなど経費が上がる一方、客先への販売価格は変わらぬままなので業況が苦しい。
- ・資材等値上がりがまだまだ進んでいるので、今後の受注は不安的である。

○製造業

- ・原油関連原材料サプライヤーからの値上げは待たなしであるが、製品販売価格への転嫁が遅れている（業界的傾向）。
- ・人員及び人材不足
- ・受注は増加傾向だが、材料不足、コロナによる出勤停止により供給に遅れが発生している。
- ・求人に応募がない
- ・小野商工会議所SDGs宣言に登録。
- ・春に価格改正を行ったが、再度年内に価格改正の実施予定。一年に2度の改正は初めてである。
- ・原料の値上げ、BCP対応（天災などの危機管理）等、大手の動向次第で依然先行き不透明であると思います。
- ・弊社も売上減少が続いています。先々が不安です。仕入材料高騰で単価の見直しがあり救いです。
- ・コロナでの借入金の返済が始まると大変になる。
- ・国内向け、金型、部品加工の受注が増加気味である。

○商業

- ・アルバイト代の人件費の方が多く赤字だった。
- ・従業員の不足
- ・秋になって売上アップを期待しています。
- ・宅配業界全般的に、得意先が減少傾向にあり、来年あたりに業況が厳しくなりそう。
- ・無理しないで状況に合わせて頑張っていきます。

○卸売

- ・経費がかなり上がっているのに人件費も上がるので会社としてはかなりきつい。
- ・現在、地場産業主体の商品構成だが、海外生産の製品が多かった為、為替相場で仕入決済の高騰、巣ごもり需要がなくなった為、売上の減少に至ってます。

○サービス

- ・物の値段が上昇傾向の中、一般家庭の財布のひもが固くなっているように感じる。
- ・運送業界においては、燃料高によるコストアップが大きい。ドライバーの高齢化による人材不足が課題である。
- ・プレミアム商品券が使えるから来客して下さっているお客様もあり、ありがとうございます。
- ・商品の価格を上げる事による客離れの不安を感じる。
- ・原材料の物価高、円安の影響から、仕入れ、部品、月々のサブスクリプション費用が高くなっている。そのため、当事業所だけでなく、お客様も経費を削減している傾向のため、新たに事業（経費をかけないオンラインサービス）を展開する必要がある。

○特産

- ・注文があるができない。鋳を作るとすぐなくなる。
- ・製造職人がおらず、受注しても納品が出来ないなど、人材について問題がある。